

世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラム メールレビュー評価書（案）

○ 評価書作成者

所属機関	
部 局	
役 職	
氏 名	

○ 評価対象プログラム

[分野名： ]

ホスト機関名		機関番号		整理番号	
拠点構想名					
拠点構想責任者名 (所属・役職)					

【(1)～(4)の合計点数： 点/200点】

【(1) 拠点構想について】(小計： 点/100点)

- ① 対象分野は、日本の優位性を十分発揮でき、且つ10年間という比較的長い助成期間を超える将来性が期待できるような、ある程度の幅をもった骨太なものか。  
特に秀逸である(10点) 非常に優れている(8点) 優れている(6点) やや劣っている(4点) 劣っている(2点)
- ② 研究達成目標とそれを実現するための計画は、世界トップレベルの研究拠点に相応しい水準と学問的・社会的意義を持つとともに、一般の国民に判りやすく、且つこれまでの実績に基づいた具体的なものになっているか。  
特に秀逸である(10点) 非常に優れている(8点) 優れている(6点) やや劣っている(4点) 劣っている(2点)
- ③ 拠点を構成する研究者の規模及び研究水準は適切か。(特に主任研究者は世界トップレベルといえるか)  
特に秀逸である(20点) 非常に優れている(16点) 優れている(12点) やや劣っている(8点) 劣っている(4点)
- ④ 拠点長の強力なリーダーシップの下で、研究・事務の両部門における適切な管理運営を行い得る体制となっているか。  
特に秀逸である(20点) 非常に優れている(16点) 優れている(12点) やや劣っている(8点) 劣っている(4点)
- ⑤ 研究者が国際的かつ競争的な環境の下で研究に専念できる環境を整えるための、制度的、人的、設備的な措置が講じられているか。  
特に秀逸である(20点) 非常に優れている(16点) 優れている(12点) やや劣っている(8点) 劣っている(4点)
- ⑥ 対象分野における世界的なレベルを評価するための評価指標・手法や、それに基づく現状評価は十分に客観的で適切なものとなっているか。  
特に秀逸である(10点) 非常に優れている(8点) 優れている(6点) やや劣っている(4点) 劣っている(2点)
- ⑦ 本プログラム以外の競争的資金等による研究資金の確保が十分に見込めるか。  
特に秀逸である(10点) 非常に優れている(8点) 優れている(6点) やや劣っている(4点) 劣っている(2点)

\*上記の評点の判断の根拠・理由等(優れている点、改善を要する点等)を必ず記入してください。

〔(2) 経費について〕(小計: 点/20点)

- 経費の内容が妥当であり、拠点構想を実現する上で必要不可欠なものとなっているか。

特に秀逸である(20点)非常に優れている(16点)優れている(12点)やや劣っている(8点)劣っている(4点)

\*上記の評点の判断の根拠・理由等(優れている点、改善を要する点等)を必ず記入してください。

〔(3) ホスト機関の支援体制について〕(小計: 点/30点)

- ホスト機関全体の戦略における拠点構想の明確な位置付けの下、世界トップレベルの拠点構築のためのホスト機関による経費面・人事面・インフラ面での具体的な支援は約束されているか

特に秀逸である(30点)非常に優れている(24点)優れている(18点)やや劣っている(12点)劣っている(6点)

\*上記の評点の判断の根拠・理由等(優れている点、改善を要する点等)を必ず記入してください。

〔(4) 総合評価〕(小計: 点/50点)

- ① 拠点構想等全体を通じ、真の「世界トップレベル拠点」として世界トップレベル研究者を惹きつける構想となっているか。

特に秀逸である(30点)非常に優れている(24点)優れている(18点)やや劣っている(12点)劣っている(6点)

- ② 拠点構想等は、ホスト機関の他部局や他の研究機関が世界トップレベル研究拠点を構築する際のモデルとなりうる先導的なものとなっているか。

特に秀逸である(10点)非常に優れている(8点)優れている(6点)やや劣っている(4点)劣っている(2点)

- ③ 本プログラムの実施期間が終了した後も、当該拠点が「世界トップレベル拠点」であり続けるための取組が期待できるか。

特に秀逸である(10点)非常に優れている(8点)優れている(6点)やや劣っている(4点)劣っている(2点)

\*上記の評点の判断の根拠・理由等(優れている点、改善を要する点等)を必ず記入してください。